

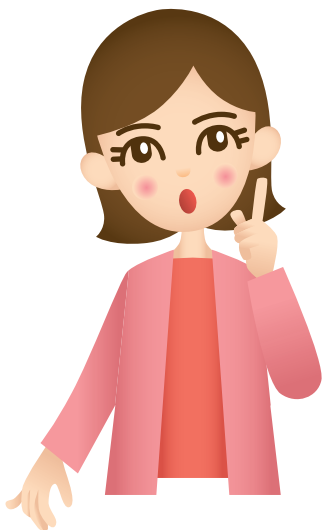
普段気をつけなければならないことは？



● 低血糖に気をつけましょう

血糖値が下がりすぎていろいろな症状が出たときの症状を「低血糖」といいます。インスリン注射で治療しているときは、血糖値が下がりすぎることがあります。低血糖の症状をよく知っておきましょう。

小さな子どもの場合には、低血糖症状の前兆がはっきりしないために、遊びや勉強に夢中で自分でも気がつかないままに低血糖になる場合があります。また、子どもは（大人でも同じことがあります）低血糖の症状をうまく伝えることができない場合には泣き叫んだり、不機嫌で怒りっぽくなったり、聞き分けがなくなったり、今まで活発だったのに急に静かになってしまうことがあります。



● 血糖値はどうすれば分かるのですか？

血糖値は自分で測定します。最近では、簡単に血糖を測ることができる便利な血糖測定器が開発されていますので、こどもでも自分で手軽に血糖値を測ることができます。